

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①進学重視型の単位制の学校として、習熟度別・少人数制の授業形態や、自らの考えを深めたり、周りと意見交換し合ったりする授業内容に満足している生徒が70%以上いる。	①生徒の実態に応じた教育課程の編成を行い、また、職員間の研修を活性化させ、幅広い学力を付けさせる授業の実践を行うとともに、55分授業を活かし、授業内での言語活動の充実を図る。 ②「ENAGEED」等を活用した探究活動を、教科学習や学校行事、進路意識向上への動機付けとなるよう、教科・分掌間の連携を図る。 ③授業を充実させるとともに、特別活動や部活動などの活性化を図る。	A	A	研修を通して新学習指導要領に沿った新しい授業への理解を深め、コロナ渦での感染対策を徹底した上で、意見を発表し合える場を各授業の中で構築していく。	A	A	引き続き、職員間の意見交換を活性化させ、新学習指導要領による「学びに向かう力、人間性等」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の3つの柱にそった資質・能力の育成が図れる授業の構築を目指す。
		②「みらい学」を中心としたEAST Projectに主体的に取り組む生徒が、70%以上いる。		C	A	職員生徒ともに「EAST Project」の意義を再確認し、主体的な学びに繋がる課題等を授業やみらい学の中で設定して取り組む。	C	A	「EAST Project」の意義を再確認し、みらい学(ENAGEED)での探究活動を土台とした主体的な学びを、各授業の中で設定していく。
		③自分の学校が好きだと感じている生徒が、70%以上いる。		A	A	充実した学校生活が送れるよう、授業や学校行事のさらなる充実を図る。	A	B	withコロナに合わせつつ、授業や学校行事のより一層の活性化を図る。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④生徒が「主体的」に取り組む授業の工夫が行われ、授業に「主体的に取り組むことができた」と答える生徒が、70%以上いる。	④言語活動を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行う。 ⑤自分の能力ややりたいことを自覚させるために、探究活動や進路研究を積極的に活用して、生徒各々にとっての学習目標を明確にさせる。 ⑥基礎基本の定着を図るとともに、質・量ともに適切な課題を配付し課外授業を実施する。 ⑦進路講演会や二者面談等を行い、生徒に適切な目標をもたせ学習への自覚を促す。	A	B	ICTや大学出張講義をうまく活用し、より生徒が授業に主体的に取り組む工夫を行う。	A	B	学びみらいPASSの結果などを職員間で共有し、個別面談などを通して生徒がより主体的に取り組むような働きかけを行う。
		⑤自分の学習目標を明確にして、学習に意欲的に取り組んでいる生徒が、70%以上いる。		C	C	進路講演会や大学出前授業を通して生徒の学習意欲を喚起し、模擬試験の振り返りを行うことで各々の学習目標を明確にさせる。	C	C	進路講演会や大学出前授業を通して1・3年次の生徒については学習意欲を喚起できているので、もう少し継続していく。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が65%以上いる。 ⑦平日の学習時間が1時間30分以上の生徒が、75%以上いる。		C	D	課題や課外の内容及び量を再点検することで定着度の認識に対する教員と生徒とのギャップを埋める。 ⑧進路講演会や二者面談等を行い、学習室の利用促進など外発的動機付けも行っていく。	C	C	3年次に関しては高い数字が出ているので、1・2年次での定着度が高まるよう課題の質と量を検討する。 課外の実施方法を見直すなど内発的動機付けを向上させる。また、課題の精選を行っていく。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧登下校時、自転車事故に遇わないために交通ルールを遵守している。	⑧係職員と係生徒が中心となり、登下校時の交通指導や交通安全教室等を行うとともに、全職員が積極的に指導に関わる。 ⑨生徒とコミュニケーションを取りながら積極的、効率的に取り組める環境を作る。 ⑩いじめ早期発見に向け、生徒観察、校内巡視及び定期生活アンケート等を行う。また、生徒が悩み等を相談しやすい環境作りを努める。 ⑪遅刻者記入カードを活用し、遅刻常習者には保護者と連携して、個別の指導・支援を行う。 ⑫「保健だより」、教育相談等で生徒の健康面・精神面を支援する。	C	A	交通ルールの遵守や交通マナーの向上のために、定期的に係職員で登下校時の交通指導を行う。	B	A	交通ルールの遵守や交通マナーの向上のために、定期的に係職員を中心に登下校時の交通指導を行う。
		⑨清掃を行い、綺麗になったことで達成感を持てる生徒が70%以上いる。		A	A	どのように清掃を行うか、担当の生徒たちに考えさせ、目標を掲げて監督も一緒に取り組む。	A	A	継続して生徒と監督が一緒になって清掃を行う。清掃監督不在時でも清掃が出来る環境をつくる。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑩良好な人間関係づくりを実行できている生徒が70%以上いる。		A	A	全教職員がよりアンテナを高くし、生徒観察や状況把握に努め、情報共有を図る。生徒の相談には、真摯に向き合い話を聴く。	A	A	全教職員がよりアンテナを高くし、生徒観察やアンケートなどにより状況把握に努め、情報共有を図る。生徒の相談には、真摯に向き合い話を聴く。
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪1日の平均遅刻者が全生徒の2%以下である。	⑪遅刻者記入カードを活用し、遅刻常習者には保護者と連携して、個別の指導・支援を行う。 ⑫「保健だより」、教育相談等で生徒の健康面・精神面を支援する。	A	A	登校時の様子を見守り声かけをしていく。	A	A	社会人としての資質についての啓発を進める。
		⑫自分の健康管理に気を配って生活している生徒が80%以上いる。		C	C	保健委員が保健だよりの読み聞かせをSHRで行う。定期検診の結果を三者面談で保護者に渡し、受診への意識を向上させる。	C	C	保健委員による保健だよりの読み聞かせは今後も継続してゆく。インフルエンザ等の流行に応じて昼休みの放送で注意喚起を促す。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬担任と生徒の二者面談を年2回以上、保護者を加えた三者面談を年2回(1・2年次は1回)効果的に実施する。	⑬進路希望調査や模試結果などの事後指導を通して、現状を生徒に正しく認識させ、主体的な進路選択に必要な材料を蓄積させる。 ⑭生徒の希望進路に応じて、個別に進路情報を提供することに加えて、年次ごとの進路講演会や集会での連絡を効果的に実施する。 ⑮キャリア教育に関する行事の際に、事前事後の指導を徹底するとともにキャリアパスポートやみらい手帳を活用して、自己の活動について振り返らせ、改善に役立てられるようにする。	B	A	模試結果だけでなく、進路希望調査の結果など年次や学校全体の動きを保護者へ面談を通じて周知する。	A	A	外部アンケートなどから判断すると、面談が生徒にも保護者にとっても効果的に働いているので、それを継続していく。
		⑭進路に関わる情報提供が役に立っていると考える生徒が80%以上いる。		B	C	オンラインなどをうまく活用し、生徒向けの進路行事にこれまで以上に保護者に参加してもらえるようにする。	C	B	外部アンケートの結果によると、これまでの改善策が結果に表れ始めているので、もう少し継続していく。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるように努力をしている生徒が、75%以上いる。		C	B	キャリア行事による生徒の主体性の伸長を、教員が感じられるような企画(教員研修など)を実施する。	C	A	外部アンケートの結果によると、これまでの改善策が結果に表れ始めているので、もう少し継続していく。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯本校の教育活動や取組を保護者や地域の人々に理解してもらうために、学校のホームページを月2回以上更新している。	⑯各種行事等が終了する毎に、各分掌、各年次に協力を依頼し、最新の情報を提供しよう心がける。 ⑰オンライン実施も含め事前に開催内容等の周知を徹底する。	B	B	学校行事や部活動報告など閲覧しやすいホームページの構成、更新に努める。	A	B	本校の魅力を効果的に発信できるよう、掲載記事の内容や体裁を随時見直し更新していく。
		⑰各年次保護者会や保護者向け講演会等に参加したことがある保護者が70%以上いる。		B	D	新型コロナ感染症予防のため、予定していた講演会が代替のオンライン実施も含め実施できなかった。次年度への検討事項とする。	C	D	新型コロナ感染症の拡大により、保護者向け講演会は2年次しか実施できなかった。実施できない場合の代替配信等を、各担当に協力依頼をする。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑱ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。	⑱ICTを授業で活用するための環境を整え、技術面や活用方法の支援を研修で行う。 ⑲職員がICTを活用しやすいように環境整備に努め、利用にあたっての技術情報などを伝達する。	C	B	ICTの効果的な利用方法に関する情報などを職員に提供し、生徒の満足度の向上を目指す。	B	B	ICTを活用しやすい環境の整備に努め、より良い効果的な活用例などの情報交換を推進する。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑲ICTを活用した通知に、生徒の70%以上が満足している。		A	A	ICTを活用した通知をより便利に利用できるよう、職員にシステムの活用方法などを紹介する。	A	A	今後とも満足度の高い状況を維持出来るよう、各種サービスの管理などを確実に実施する。